

第71回日本PTA全国研究大会広島大会参加報告書

富士市PTA連絡協議会 副会長 中村まり子

第71回 日本PTA全国研究大会広島大会が、8月25日から2日間、広島県にて開催されました。

大会スローガン：変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革を！

～見つけ 考え かわろうや ぶち楽しいで！！～広島から全国へ

初日の分科会では 第6分科会（テーマ：防災教育）へ参加させていただきました。

1. 基調講演者『あんどうりす』氏の講演：

- 『あんどうりす』氏はアウトドア防災や赤ちゃん防災に関する情報提供者として活動し、主にYahooやYouTubeで情報発信を行っています。
- 講演では、子供への防災知識の伝達や、PTAの役割についての示唆に富んだ内容が提供されました。
-

2. 広島県三原市本郷中学校区の事例：

- 豪雨による浸水被害が生じ、多くの生徒が被災したが、PTAの支援と地域の協力により、転校生ゼロの奇跡が実現したという事例が紹介されました。
- 地域の協力と「Pパッと T楽しく A遊ぼうよ」というキャッチフレーズのもとで、楽しいPTA活動を通じて地域の絆を深め、保護者の参加を促進する方法が示されました。

富士市が活火山の富士山を抱えている地域として、この分科会では、予期せぬ災害から大切な命を守るために、具体的には、以下のポイントが取り上げられました：

- **今できること・考えておくべきこと**：災害に備え、子供や大人の防災意識を高めるために、今できる具体的な行動や考えるべきポイントを検討。
- **防災情報と人的ネットワークの活用**：想定外の災害に備え、防災情報や人的ネットワークを活用する力を養う方法について検討しました。
- **PTA組織の役割**：子供たちを守るために、PTA組織がどのように活動すべきかについて議論し、地域と連携して大切な命を守る重要性を再確認しました。
- **地域と学校の連携、防災教育、子供たちの安全と発展**が、このイベントの中心的なテーマとして浮かび上がりました。

- 地域と学校が協力し、楽しいPTA活動を通じて絆を深め、子供たちの未来を支えることが、強調されたポイントでした。

このイベントを通じて、地域と学校が連携し、子供たちの安全と発展に貢献するための重要性が再確認され、PTA活動が楽しさを通じて有益なものになることが示されました。感想として、地域社会の結束とPTAの重要性についての理解が深まりました。

2日目全大会では

記念講演（演題）：【心のトリセツ～「逃げ癖」を「意欲」に変える脳科学から～】

（講師）：【黒川 伊保子（くろかわ いほこ）氏（株）感性リサーチ 代表取締役）

1. AIについての記念講演：黒川伊保子氏のAIに関する講演は非常に興味深く、特に人間の脳についての議論は印象的でした。

AIが進化する現代において、発想力や対話力の重要性が強調されました。また、コミュニケーションにおいて「いいね」という受け入れる姿勢の重要性も学びました。

2. 個性の多様性：指先タイプと手のひらタイプという個性の違いについての説明は非常に興味深かったです。個々の個性を理解し、適切にコミュニケーションをとることが、より効果的な対話と協力につながることを理解しました。

3. 失敗からの学び：失敗は成長の機会であり、成功への道を切り拓く重要なステップであるという指摘に深く共感しました。

失敗を恐れずに、自分の個性を発揮して前進することが大切だと。

PTAとして、子どもたちの成長をサポートし、地域社会に貢献する気持ちがさらに高まりました。

今回のイベントを通じて、新たな知識と洞察を得ると同時に、子どもたちや地域社会に対する責任を再確認していきたいと感じました。

この2日間を通して、自分の中で大きく成長を感じられた日になりました。

一保護者の視点 ⇒ PTAからの視点 最終目的は共有できるようにしたいと強く思いました。